

まるごと包括支援センター通信

★大豊町のお達者さん紹介コーナー★



馬瀬 幸代さん (91)

幸代さんと一緒に写っているパッチワークやバッグは全て作品です

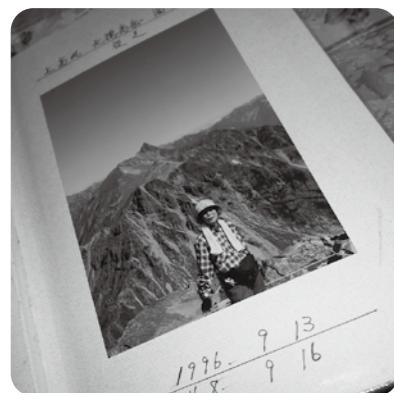
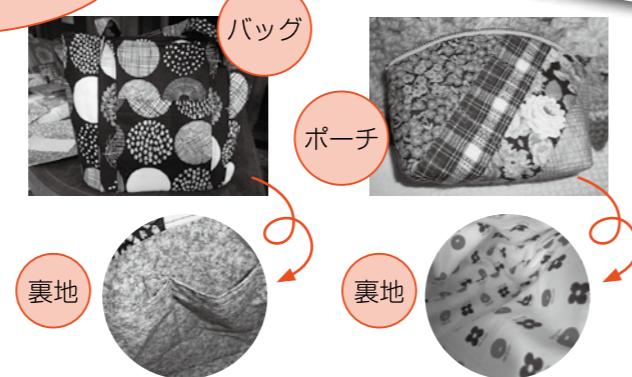
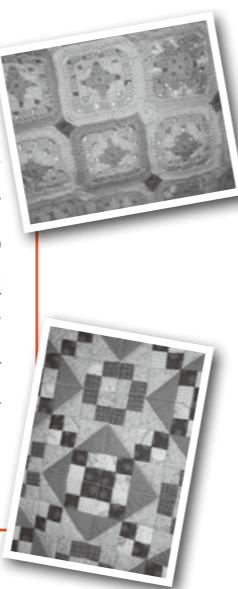
【作品制作のポイント】

はぎれを組み合わせて作るので表と裏で生地が異なります。デザインを考えるのも楽しいです。バッグは、バスの乗車カード等のすぐ取り出したいものが入れれるよう外ポケットもつけてみました。

作品は、孫にプレゼントしたり、コロナ禍の前は市内の喫茶店で販売もしていました。

【パッチワーク、かぎ針編み】

「60歳過ぎに、高新区文化教室のパッチワーク教室に通い始めたのがきっかけです。方眼紙に製図を描き、配色を決めるところから始まります。着物や洋服のはぎれ、家にある布を使用してミシンで作っています。ポーチであれば一日に2個作れます、大きなパッチワークは1ヶ月ほどかかります。出来上がったときは達成感があります。」



【63歳頃から始めた登山】

「近所の方のお誘いがきっかけで始めました。南アルプスや九州にも登山に行きました。これは南アルプス登山の思い出のアルバムです。同じツアーの参加者の中では、最高齢でした。4日間かけて登りましたが、景色や花がとてもきれいでいた。」



「今が青春、幸せです。みなさんも何か楽しみを見つけてもらえた」とお話ししてくれた幸代さん。取材をしに私もたくさんの元気をいただきました。何かを始めてみたい方はぜひ参考にしてください。取材を引き受けください、ありがとうございました。



引き続き、取材を続けていきたいと思います。
自分のためにしていること（運動、散歩、栄養、趣味の活動等）をぜひ、地域支援班までご連絡ください。自選、他選は問いません♪

大募集

問い合わせ先 地域福祉課 地域支援班 大豊町まるごと包括支援センター

悪質な便乗商法と詐欺に気をつけましょう

話題性の高い出来事や大きな災害が起きると便乗し、関連があるように見せかけてお金をだまし取ろうとする手口があります。

狙われるのは

地震・水害など大きな災害が起きたとき

事例 1

地震のあと、屋根の点検を行う業者が訪ねてきた。
無料だというのでみてもらったところ、「このままでは危険だ、
すぐに契約すれば割引になる」と急がされ、慌てて契約をしてしまった。

これは悪質業者の手口です

- 「早く工事しないと大変なことになる」「周囲の人にも迷惑がかかる」など不安をあおってその場で契約させようとする。
- 内容を詳しく説明せずに工事をして、後から高額な請求をする場合などもあります。



もし「契約するまで帰らない」と居座られたら
迷わず110番へ通報しましょう。

事例 2

国内で洪水や水害被害があった数日後、役場の職員を名乗る男性が義援金を集めに訪ねてきた。家に来るのは珍しいと思ったものの、被災地のためならと思ってお金渡してしまった。



これは悪質業者の手口です

- 災害が起きると、義援金の名目でお金を集める義援金詐欺が多発します。
- 役場や地区会の人間だと身分をかたってお金を集めようとすることがあります、知らない人であれば安易にお金を渡してはいけません。

募金を募っている団体等をよく確認してから応じましょう

問い合わせ先 地域福祉課 地域支援班 永吉